

安佐北区地域保健対策協議会主催 市民公開講座

「高齢者いきいき活動
ポイント事業」対象

認知症になっても 心は豊かに ～今を大切に生きるヒント～

先着
170名
入場無料



令和7年 **11月8日** 土 14:00-16:00 (開場13:00)

広島市立北部医療センター
安佐市民病院 広島市安佐北区龜山南
1丁目2-1

手話通訳・要約筆記あり



※できる限り公共交通機関をご利用ください。

プログラム

開会挨拶 安佐北区地域保健対策協議会 会長 増岡 俊治

講師紹介 広島市北部認知症疾患医療センター長 山下 拓史

基調講演

「父（認知症専門医 長谷川和夫）との対話
～気持ちを伝え合うケア・暮らしの中で学んだこと～」

精神保健福祉士
みなみ たか
講師 南高 まり氏



1962年東京生まれ。国立音楽大学卒業後、短大に勤務。その後、シルバーコーラス「マーガレット歌の会」をスタートし、音楽を通して地域活動に取り組む。一方で、日本社会事業大学で学び、精神保健福祉士（PSW）として精神障害者デイサービスなどに勤務し、社会福祉活動に携わってきた。認知症専門医の父・長谷川和夫が80歳を過ぎた頃から、長女として父の講演活動などに付き添う。その様子を捉えたNHKスペシャル『認知症の第一人者が認知症になった』（2020年1月放送）は大きな反響を呼んだ。著書に、父との日々を温かい視線で記した『父と娘の認知症日記』『父と娘ときどき母の認知症日記』（ともに中央法規出版）がある。父・長谷川和夫は1929年生まれ。1974年に「長谷川式簡易知能評価スケール」を開発し、2004年「痴呆」から「認知症」への名称変更の立役者でもある。2017年に自らが認知症であることを公表して以降、当事者の立場から認知症の人の想いを発信してきた。2021年11月13日に死去。享年92歳。

閉会挨拶 安佐歯科医師会 妹尾 吉訓

司会

フリーアナウンサー
ほんな まさのり
本名 正憲氏



1962年北九州市生まれ。1985年（株）中国放送入社。報道、音楽、情報ワイドなどテレビ・ラジオでほぼスポーツ以外は全分野を担当。2022年9月末をもって（株）中国放送退社、フリーランスとなる。現在、RCCラジオにて「本名正憲のおはようラジオ」を担当。

主催：安佐北区地域保健対策協議会
（安佐北区医師会、安佐歯科医師会、
安佐薬剤師会、安佐北区役所）

後援：安佐医師会、公益社団法人広島県看護協会、安佐北区介護支援専門
連絡協議会、広島市立北部医療センター安佐市民病院、公益社団法人
広島県理学療法士会、公益財団法人広島県栄養士会、広島県医療ソ
シアルワーカー協会、安佐北区認知症の人と家族の会、安佐北区認知症
カフェ連絡会（順不同）

【問い合わせ先】

安佐医師会 (082) 873-1840

安佐北区
地域支えあい課 (082) 819-0587

メールアドレス info@asaishikai-kouenkai.com